

身体拘束最小化・解除検討シート v2

PT・OTを含む多職種で「拘束せずに済む条件」を整理する補助シート

※本シートは院内の正式な身体的拘束記録・指針を置き換えるものではありません。実施可否や解除は患者の状態と自施設の指針に従い、多職種で判断してください。

基本情報

患者名／ID		病棟	
記入日時		記入者／職種	

1. 危険行動を具体化する

最優先で減らしたい危険： ☐ 転倒・転落 ☐ 自己抜去 ☐ 高度な興奮・他害 ☐ その他（ ）

何が起きているか (行動を具体的に)	
いつ・どの場面か (時間帯／場所／直前)	
背景要因： ☐ 排泄 ☐ 疼痛・不快 ☐ 覚醒・注意 ☐ 姿勢・座位 ☐ 移乗・歩行 ☐ 環境 ☐ デバイス ☐ その他	

2. 必要性を整理する

視点	確認する問い	記入
緊急性	生命・身体への危険は具体的に何か	
代替可能性	拘束以外で変えられる条件は残っていないか	
必要最小限	いつ・どの条件なら緩和／解除を検討できるか	

※院内指針で「切迫性・非代替性・一時性」の3要件を採用している場合は、その基準に沿って確認してください。

3. 代替策を検討・実施する

領域	試したこと・変更した条件	反応／残った課題
☐ 姿勢・移動		
☐ 環境・見守り		
☐ 活動・生活リズム		
☐ 排泄		
☐ 疼痛・不快		
☐ デバイス／その他		

4. 解除条件と再評価条件を決める

解除条件 (短文)	例：〇〇が整えば、△△の緩和／解除を多職種で検討
再評価日時／条件	

5. 再評価して次の一手を決める

再評価結果 (変化・結果)	
次の一手 (継続／変更／緩和／解除)	
共有： ☐ 医師 ☐ 看護 ☐ PT ☐ OT ☐ ST ☐ 薬剤 ☐ 栄養 ☐ その他（ ）	

6. 院内の正式記録を確認する

☐ 院内の正式様式へ記録済み ☐ 拘束の態様 ☐ 実施時間（開始・終了等） ☐ 患者の心身の状況

☐ 緊急やむを得ない理由 ☐ 院内指針で定められた説明・同意等 ☐ その他の院内必須項目

※令和8年度診療報酬改定では、身体的拘束を行う場合の記録として「態様及び時間、患者の心身の状況、緊急やむを得ない理由」が示されています。詳細は最新の通知・自施設の指針を確認してください。

使い方：①危険行動を具体化 → ②必要性を整理 → ③代替策を試す → ④解除条件を決める → ⑤再評価 → ⑥正式記録を確認

参考：厚生労働省「令和8年度診療報酬改定」身体的拘束最小化の取組の更なる推進／厚生労働省「介護施設・事業所等で働く方々への身体拘束廃止・防止の手引き」
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_67729.html